

**令和5年度**

**箕面グリーンロード  
料金割引社会実験結果**

**令和6年5月**

**箕面有料道路（箕面グリーンロード）社会実験協議会**

# 1. 社会実験の概要

## (1) 現状と課題

- 箕面有料道路（箕面グリーンロード）は、箕面北部、豊能及び能勢と大阪市街地を結ぶ重要な道路で、同地域の活性化に不可欠なインフラのひとつ。
- 平成19年5月の供用開始以後、本路線のPRを実施し、交通量は増加傾向を示しているものの、事業計画収入には至っていない。
- 道路利用者からは、「箕面グリーンロードができたことで大変便利にはなったが、通行料金が高いため、利用しにくい。」という声が多い。
- このため、本路線のさらなる利用促進を図るための具体的な方策が必要として平成21年7月20日から料金割引社会実験を実施。

## (2) 社会実験の目的

- 箕面グリーンロードの収支改善
- 箕面森町のまちづくり促進及び北大阪周辺の各市町等と連携した地域活性化
- 並行する一般国道423号や周辺道路から箕面グリーンロードへの交通転換

## (3) 令和5年度料金割引社会実験の内容

- 実験期間：令和5年4月1日（土）～令和6年3月31日（日）（366日）
- 対象車種：普通車及び軽自動車等（現金及びETC利用者）
- 割引内容：普通車630円→420円（33%割引）、軽自動車等520→360円（30%割引）

## (4) 社会実験の実施体制

- 「箕面有料道路（箕面グリーンロード）社会実験協議会」にて、社会実験を実施。

## 2. 社会実験の結果

### (1) 交通量の変化

社会実験の割引対象車両（普通車、軽自動車等）の日平均交通量は10,190台/日であり、実験開始以前から約3倍の増加。

期 間	車 種	平日	休日	全日
令和5年4月1日 ～令和6年3月31日	普通車	7,075(台/日)	9,253(台/日)	7,789(台/日)
	対実験開始前週比	2.941	2.474	2.795
	対R4年度比	0.921	0.981	0.944
	軽自動車等	2,377	2,449	2,400
	対実験開始前週比	3.373	3.022	3.265
	対R4年度比	0.955	0.994	0.967
	普通車+軽自動車等	9,452	11,701	10,190
	対実験開始前週比	3.039	2.572	2.894
	対R4年度比	0.929	0.984	0.949
	全車種	10,645	12,272	11,179
	対実験開始前週比	3.005	2.546	2.861
	対R4年度比	0.928	0.981	0.946

※料金割引の対象車種は、普通車及び軽自動車等（ETC及び現金通行車）

※全車種は、普通車、軽自動車等、中型車、大型車および特大車等

※「対実験開始前週比」とは、平成21年7月13日～同月19日の日平均交通量との比較

※「対R4年度比」とは、令和4年4月1日～令和5年3月31日の日平均交通量との比較

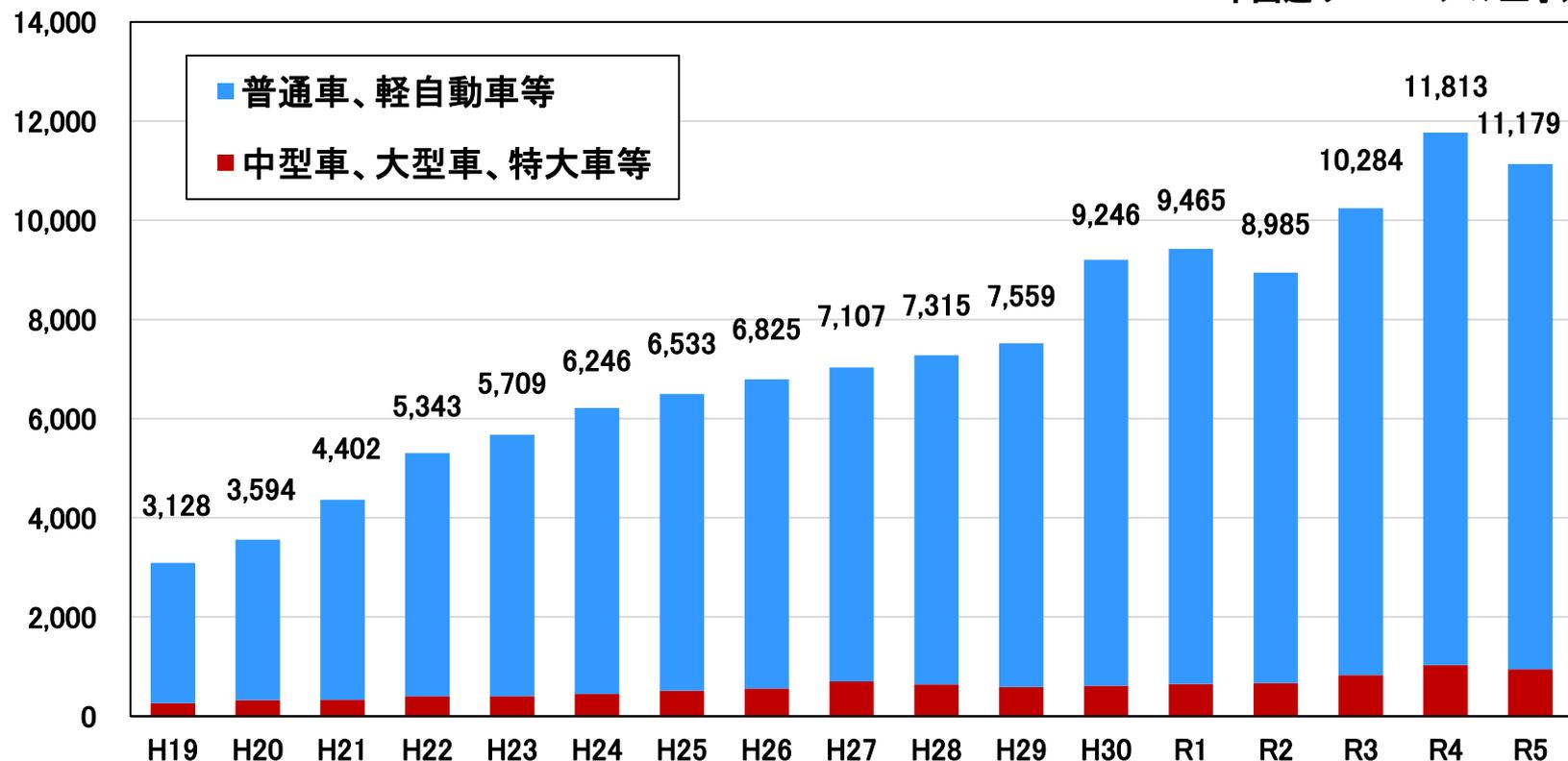
## 2. 社会実験の結果

### (2) 年度別交通量の推移

令和5年度の日平均交通量（全車種）は11,179台/日であり、昨年度に中国自動車道リニューアル工事の終日通行止めを終了したことを、考慮すると、社会実験開始以降、増加傾向。

#### ■年度別交通量の推移

(日平均交通量：台/日)



R3. 8～  
中国道リニューアル工事車線規制  
R2. 6/R3. 5～6, 10～11  
R4. 1～3, 5～6, 10～11/R5. 1～3  
中国道リニューアル工事通行止め

(年度)

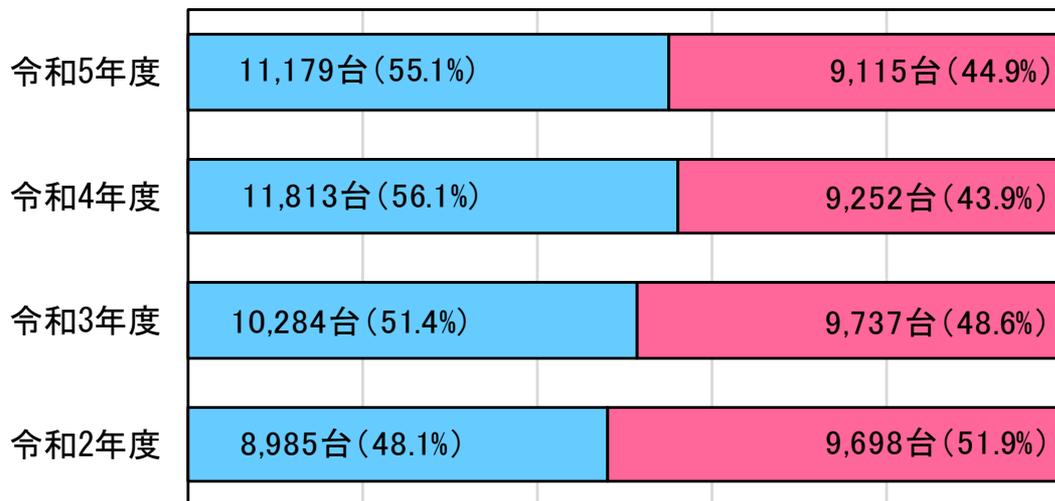
# 3. 社会実験の効果

## (1) 周辺道路からの交通転換

箕面グリーンロードと、その並行する国道423号の交通量の割合について、令和5年度では中国自動車道リニューアル工事の終日通行止めを終了したことを考慮し、令和3年度以前と比較すると箕面グリーンロードの割合が増加傾向にある。よって周辺道路から箕面グリーンロードへの交通転換が促進されていると考えられる。

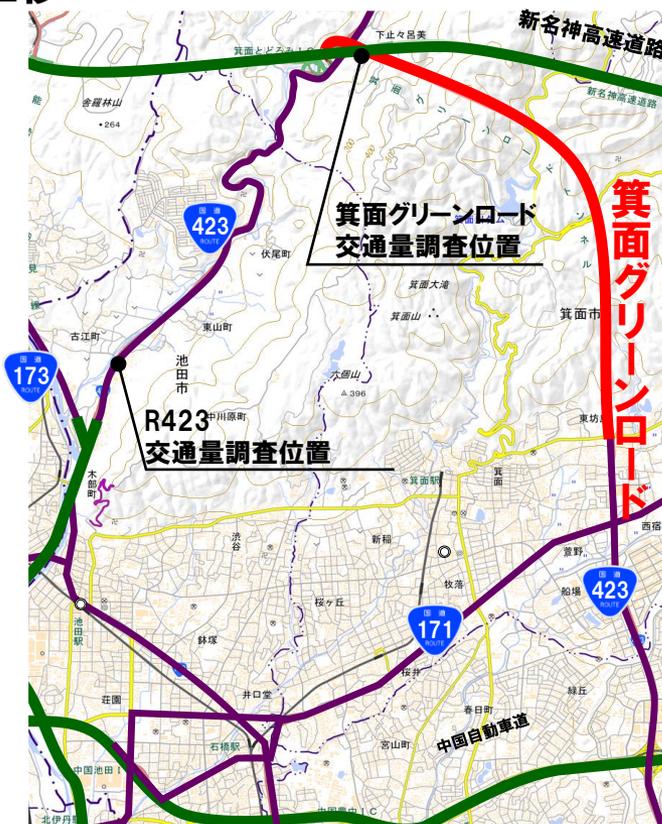
■箕面グリーンロードと並行する423号の交通量割合の推移

0%      20%      40%      60%      80%      100%



箕面グリーンロード

一般国道423号



調査位置

【出展】一般国道423号の交通量：旧細川小学校南交差点付近 車両感知器

# 3. 社会実験の効果

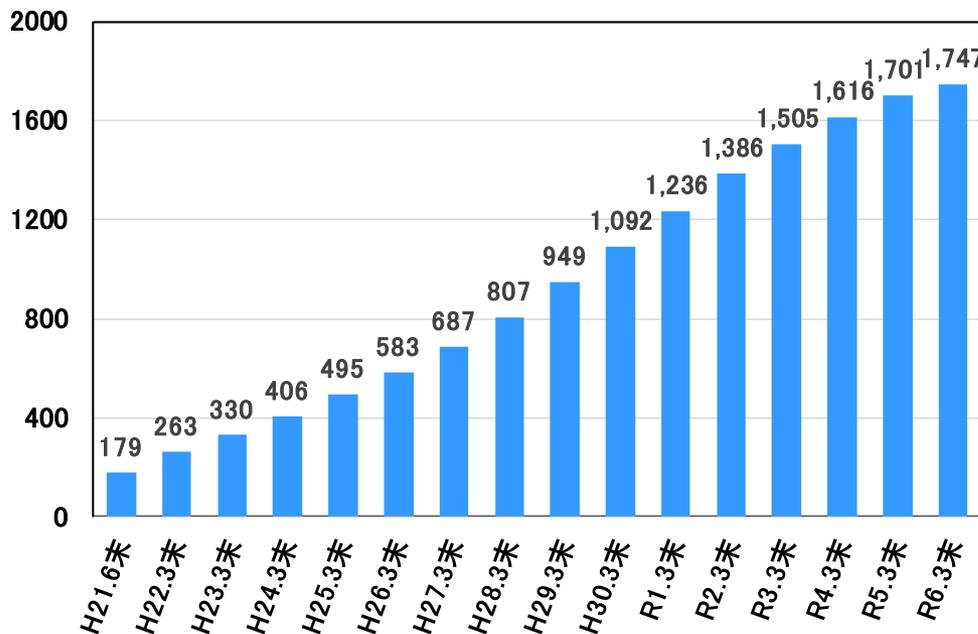
## (2) 地域活性化等の効果

箕面森町においては、世帯数が増加するとともに施設整備等が促進されるなど地域活性が図られている。

箕面森町の世帯数は令和5年度において46世帯増加しており、社会実験開始以降、継続的に増加している。

### ■箕面森町の世帯数の推移

(世帯数)



【出典】箕面森町の世帯数：箕面市町丁目別世帯人口数  
(森町北1丁目～2丁目、森町中1丁目～3丁目、森町南1丁目～3丁目)

### ■箕面森町第3区域の主な開発状況

- R1. 10 【物流】サカタウエアハウス(株) 北大阪営業所・箕面倉庫 竣工
- R3. 4 【工場】アソー(株)箕面クリーン工場 竣工
- R3. 7 【物流】ロジプラザ箕面森町 竣工
- R3. 8 【工場】大成化工(株)箕面工場 竣工
- R3. 10 【物流】京神倉庫(株)箕面支店倉庫 竣工
- R4. 1 【物流】サカタウエアハウス(株) 北大阪営業所・箕面倉庫(第二期) 竣工
- R4. 3 【物流】箕面ロジスティクスセンター 竣工
- R4. 4 【工場】チコーエアータック(株)箕面森町工場 竣工
- R5. 1 【物流】アイミッションズパーク箕面 竣工
- R6. 2 【物流】ヒューテックノオリン(株) 箕面森町冷蔵倉庫 竣工

# 4. アンケート調査結果

## (1) アンケート実施概要

令和5年11月～12月に箕面グリーンロード利用者及び沿線住民を対象にアンケート調査を実施した。

### ■道路利用者アンケート

- 調査対象：箕面グリーンロード利用者
- 調査方法：① 料金所にて調査票を配布、Webで回答  
② 大阪府HPにてWebアンケートを実施

### ○回収状況

	R5	R4 (参考)	R3 (参考)
①配布数	1,500	1,500	1,200
①回収数	70 (4.7%)	39 (2.6%)	164 (13.7%)
②HPからのWeb回答数	40	63	35
合計回答数	110	102	199

### ■沿線住民アンケート

- 調査対象：箕面市、池田市、豊能町、能勢町の住民
- 調査方法：自治会等を通じ住民に配布し、Webで回答（止々呂美、能勢町は郵送回答も受付）

### ○回収状況

	R5	R4 (参考)	R3 (参考)
配布数	2,580	2,580	2,265
回収数	1,054 (40.9%)	1,024 (39.7%)	1,249 (55.1%)

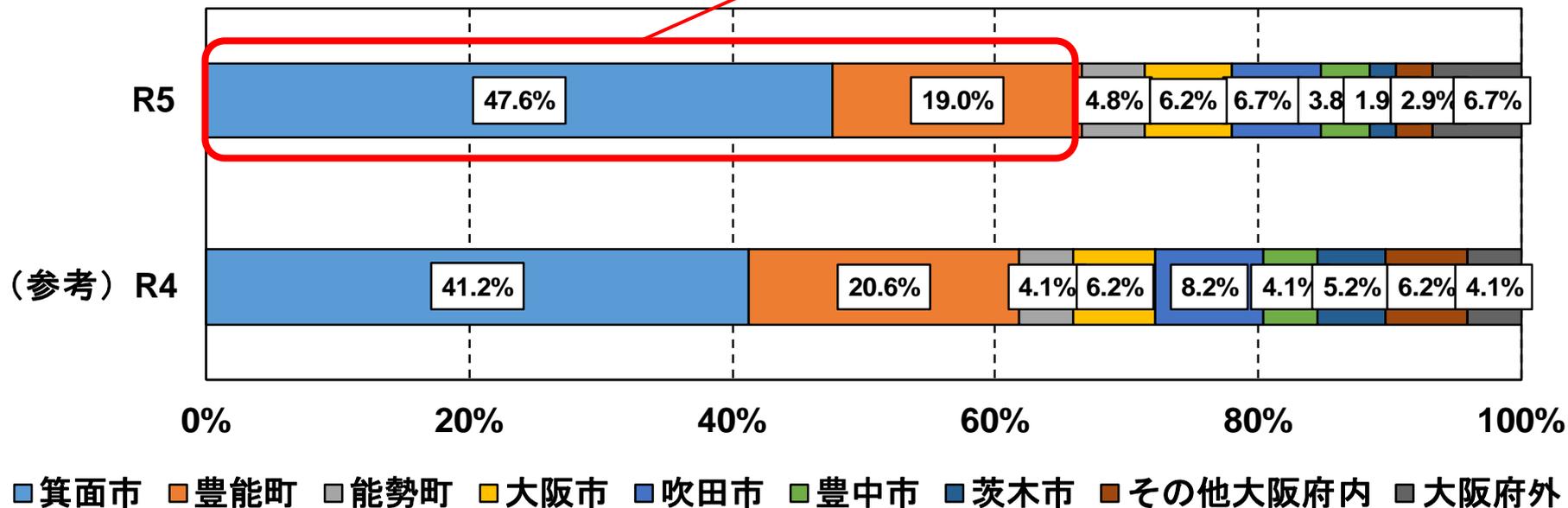
# 4. アンケート調査結果

## (2) 居住地

アンケートを回答していただいた道路利用者のうち、6割以上の方が箕面市、豊能町在住、約2割の方が能勢町、大阪市、吹田市、豊中市在住で、地域の方の利用が中心。府外では、川西市、宝塚市、南丹市の方が見受けられた。

■居住地：道路利用者（有効回答数 105）

6割以上の方が箕面市、豊能町在住



# 4. アンケート調査結果

## (3) 利用頻度

アンケートを回答していただいた道路利用者の約5割、北側の沿線住民の約7割が「週に1回以上」と回答していることから**定期的な利用が見受けられる。**

■利用頻度：道路利用者

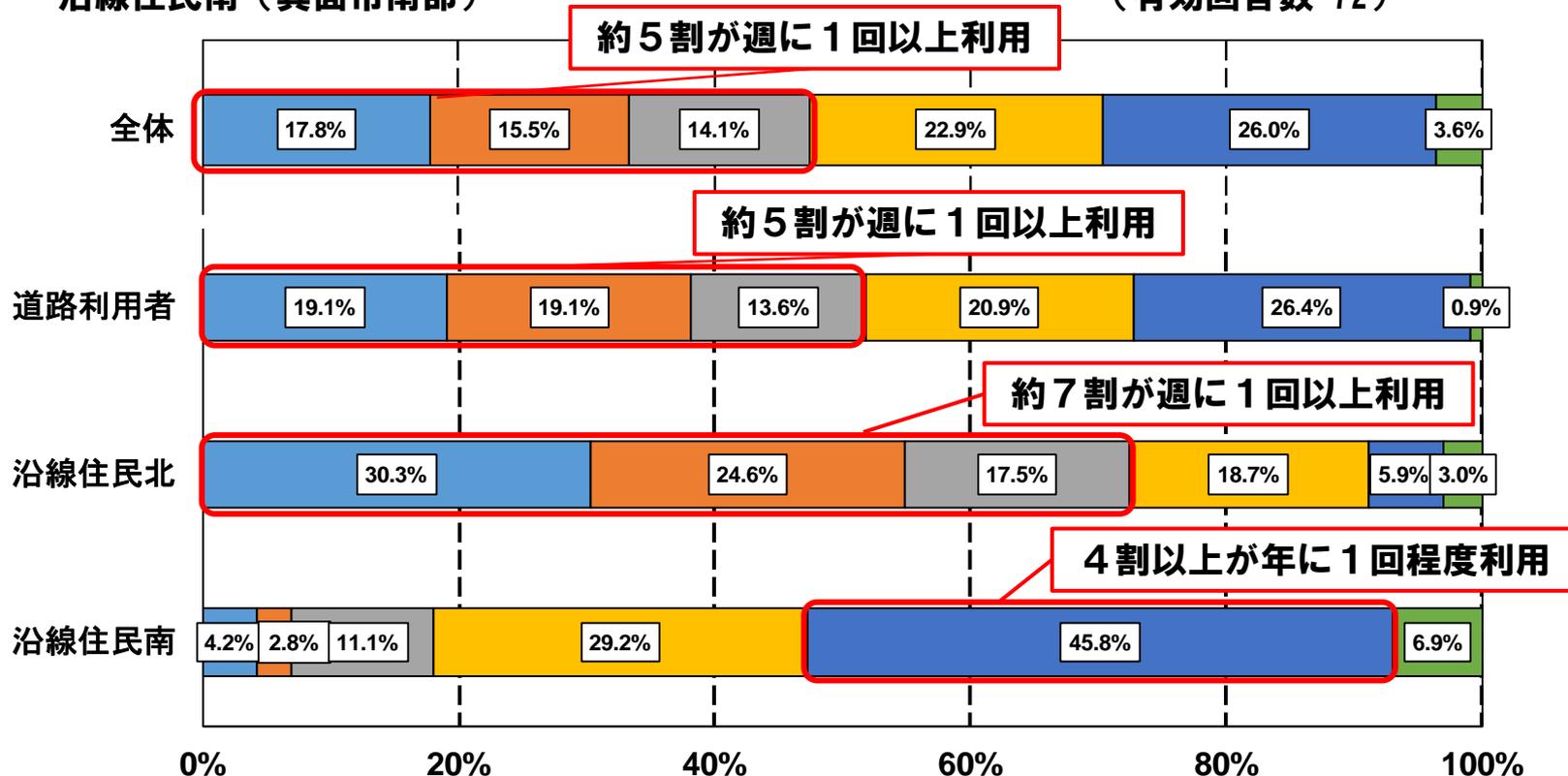
(有効回答数 110)

沿線住民北 (箕面森町、止々呂美、池田市、豊能町、能勢町)

(有効回答数 978)

沿線住民南 (箕面市南部)

(有効回答数 72)

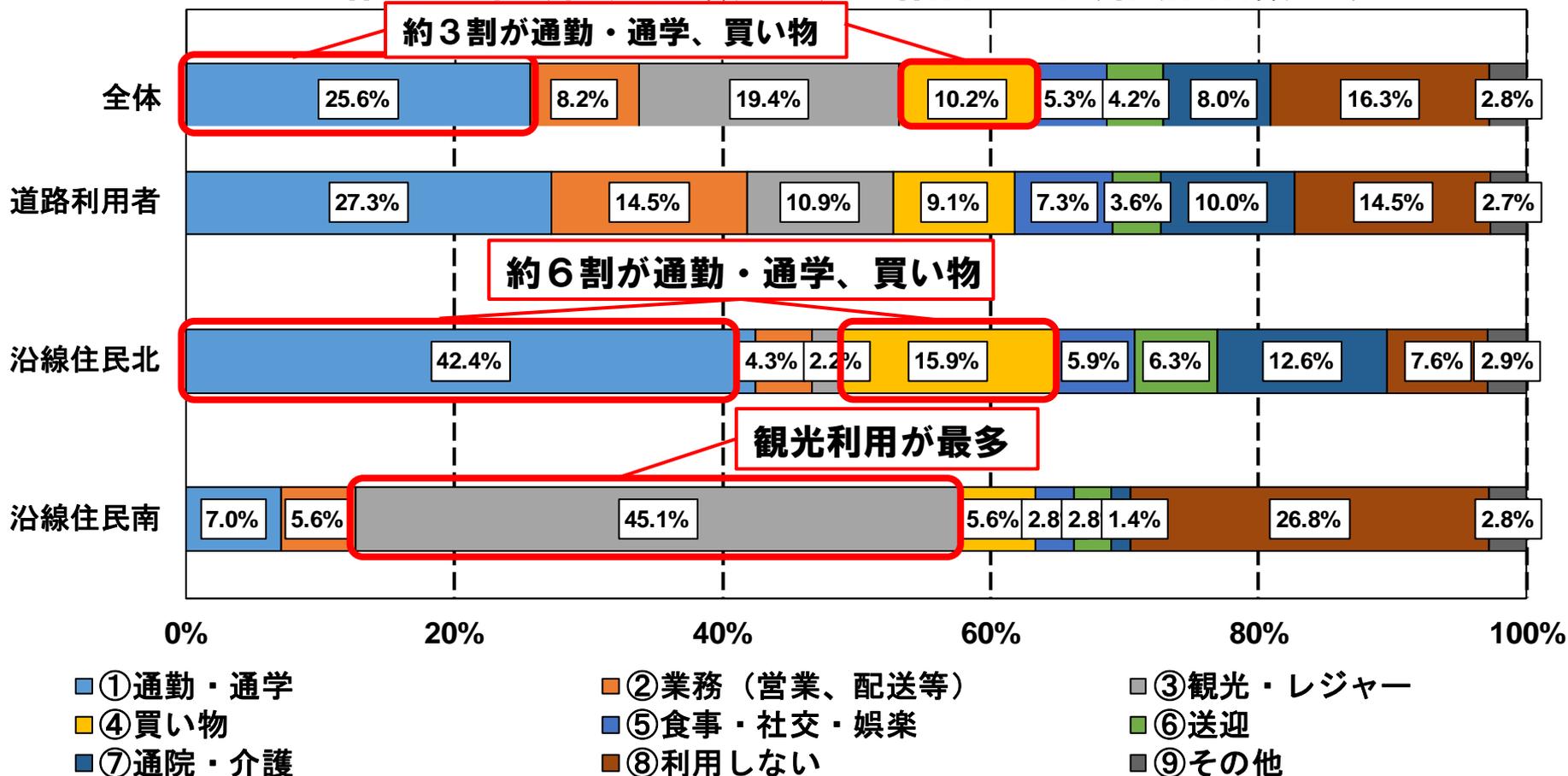


# 4. アンケート調査結果

## (4) 利用目的 (平日)

北側の沿線住民は「通勤・通学」、「買い物」で約6割を占め、「生活道路としての利用」が見受けられる。南側の沿線住民は「観光利用」が最も多い。

■ 平日の利用目的：道路利用者（有効回答数 110）  
 沿線住民北（有効回答数 976）、沿線住民南（有効回答数 71）

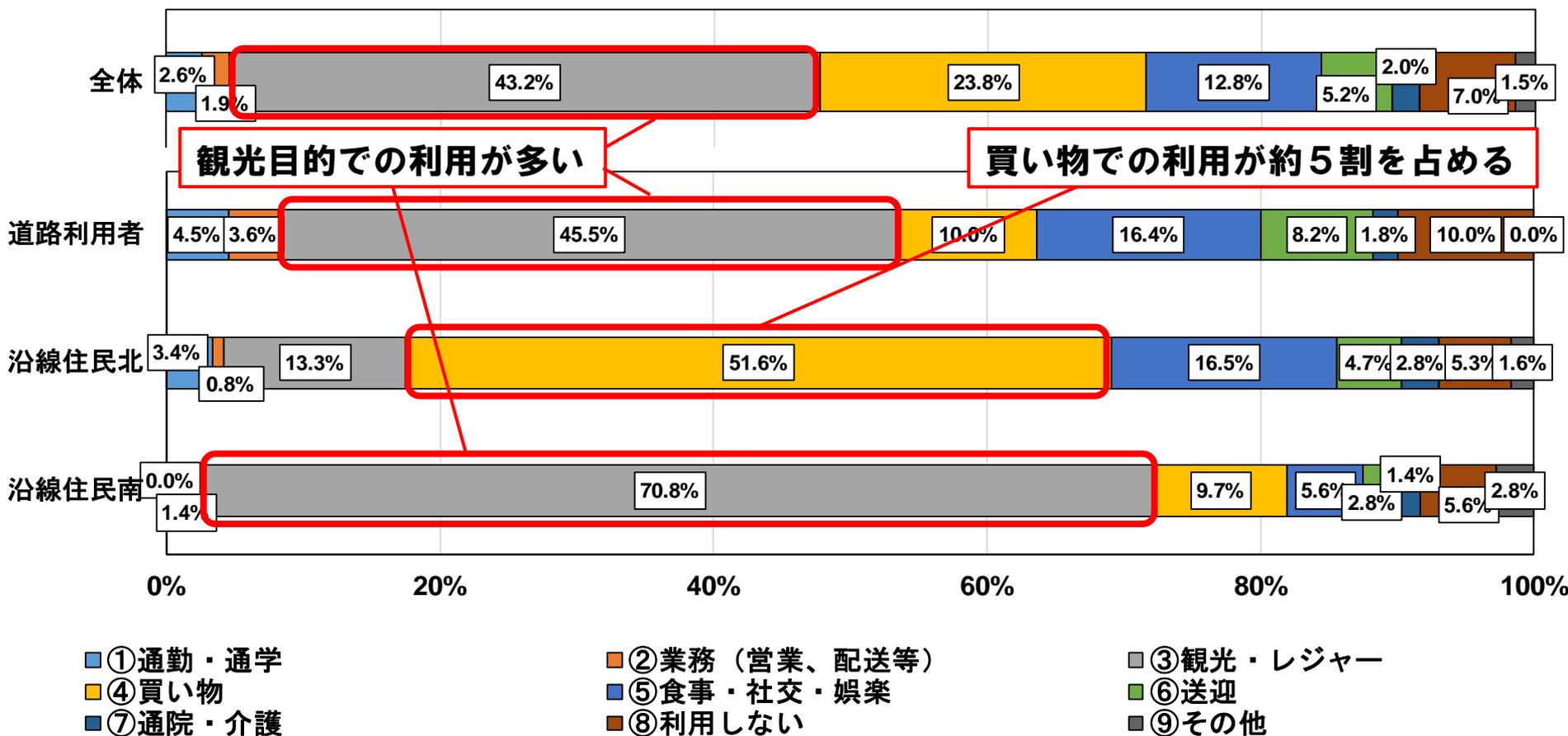


# 4. アンケート調査結果

## (4) 利用目的 (休日)

北側の沿線住民は「買い物」が半数を占め、「生活道路としての利用」が見受けられる。アンケートを回答していただいた道路利用者や南側の沿線住民は「観光利用」が最も多い。

■ 休日の利用目的：道路利用者（有効回答数 110）  
 沿線住民北（有効回答数 977）、沿線住民南（有効回答数 72）

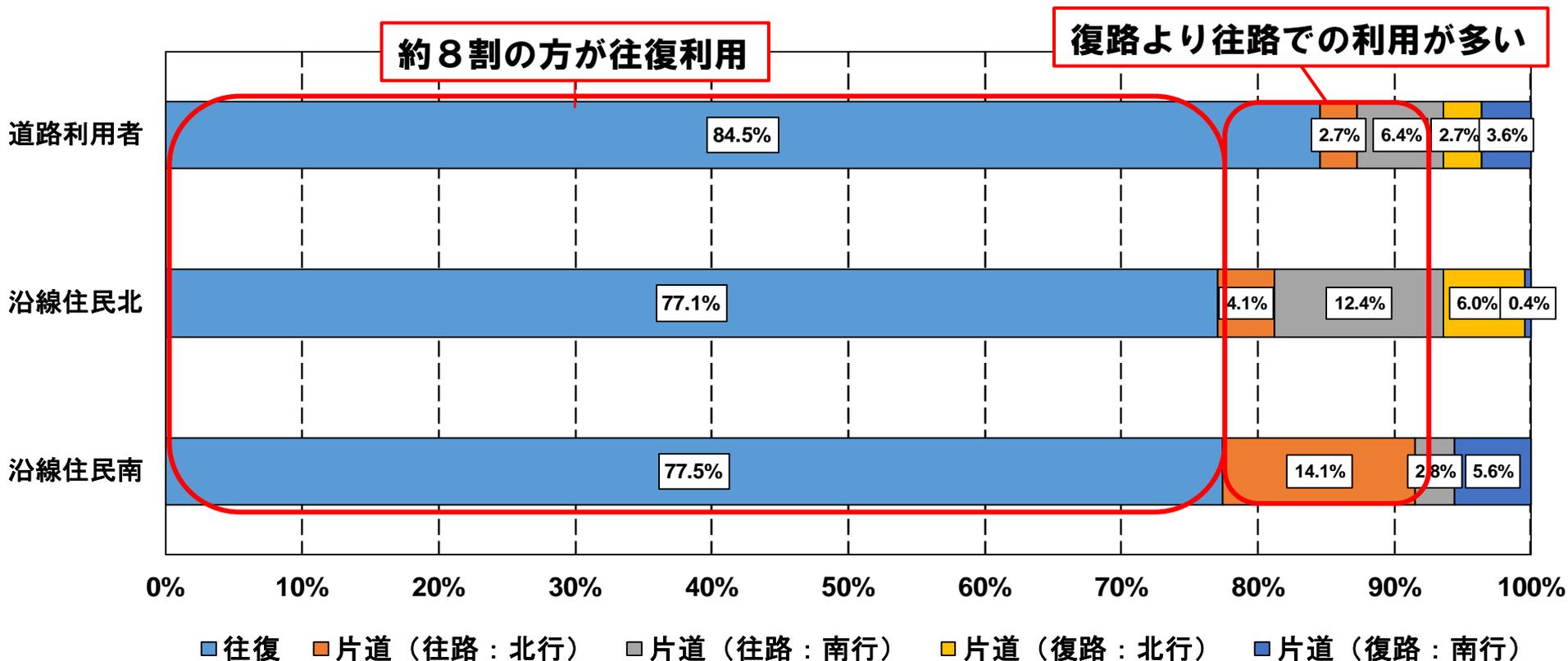


# 4. アンケート調査結果

## (5) 往復の利用

箕面グリーンロードの北側と南側、どちらの沿線住民も、約8割の方が往復で利用している。また、片道利用の中でも往路で利用している方が多い。

■往復の利用：道路利用者（有効回答数 110）  
沿線住民北（有効回答数 973）、沿線住民南（有効回答数 71）

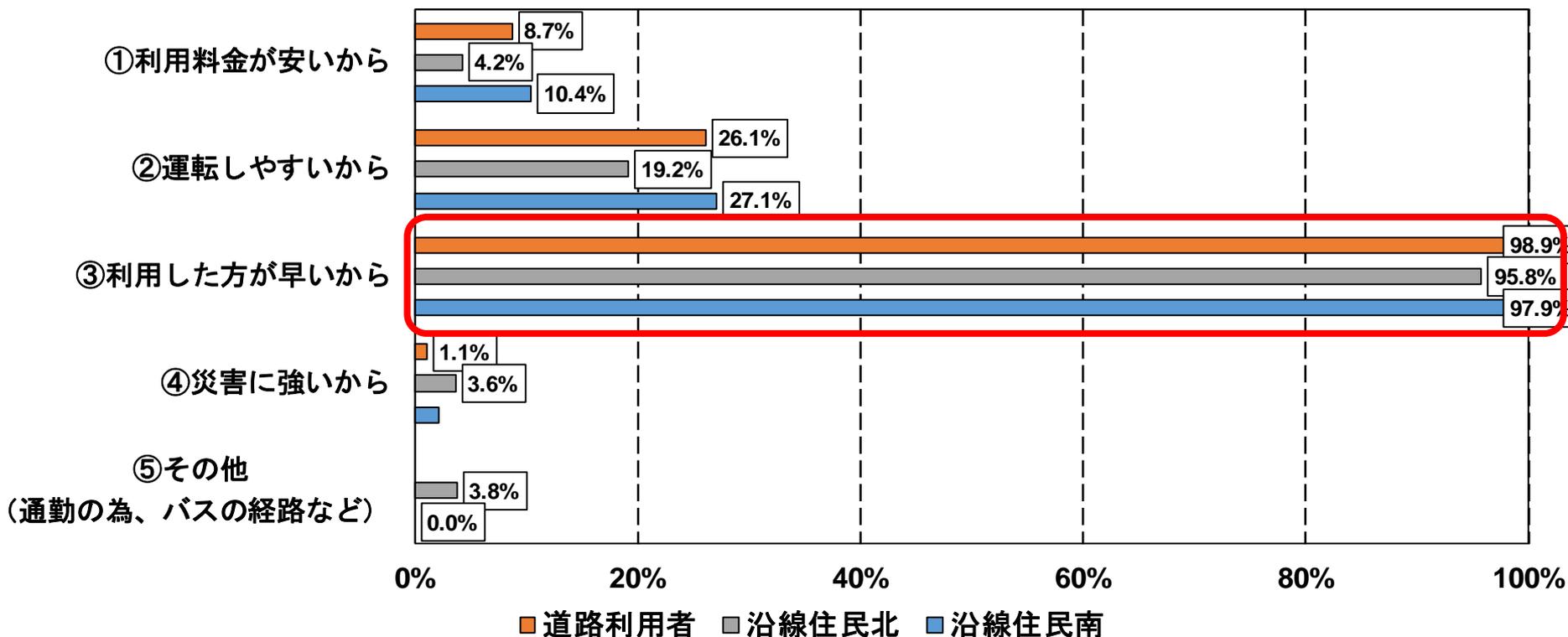


# 4. アンケート調査結果

## (6) 利用する理由

普段から利用されている理由として、アンケートを回答していただいた道路利用者、沿線住民ともに95%以上の方が「利用した方が早いから」と回答。ほとんどの利用者の方が、早く移動できることに利便性を感じている。

■ 普段利用する理由：道路利用者（有効回答数 92）  
沿線住民北（有効回答数 824）、沿線住民南（有効回答数 48）



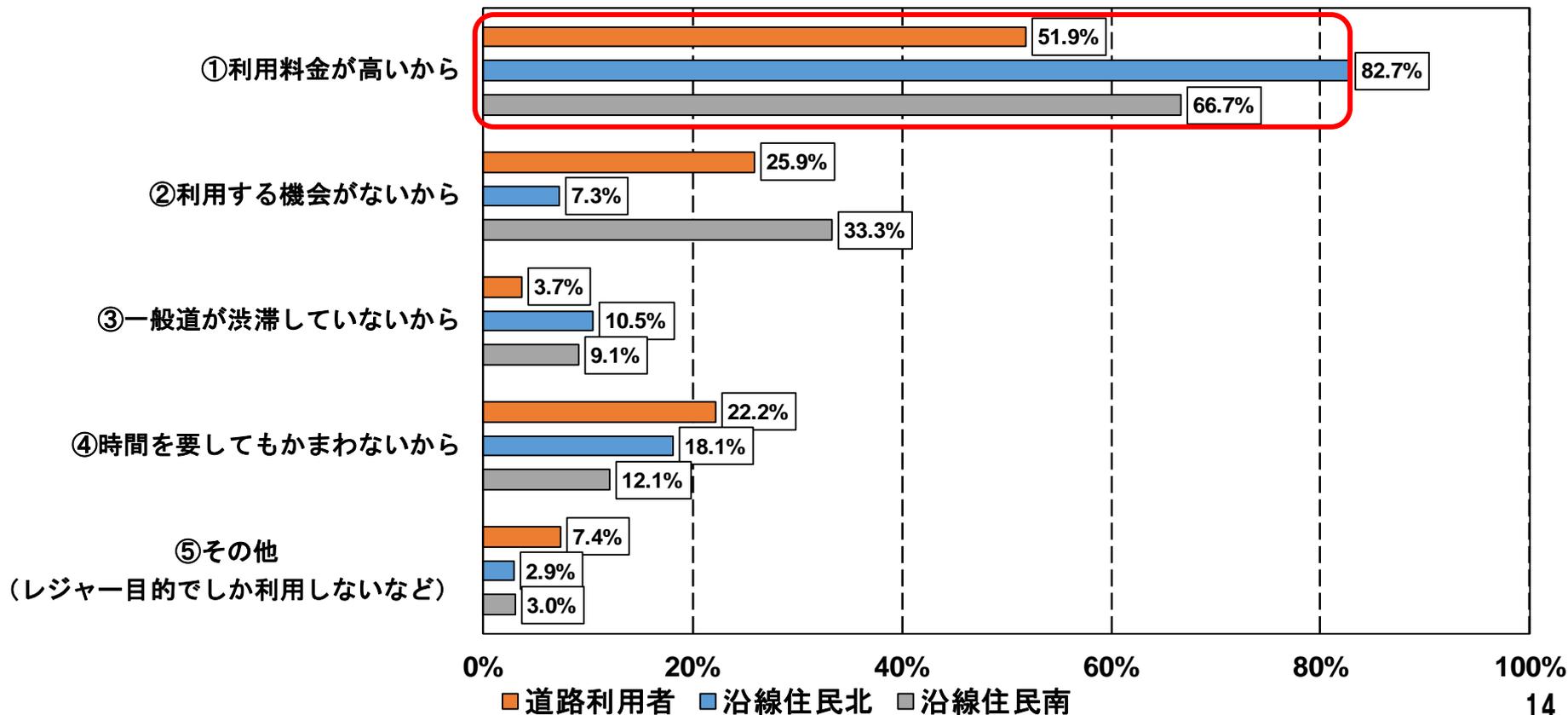
# 4. アンケート調査結果

## (7) 利用しない理由

普段から利用しないまたは片道利用の方のうち、約5～8割の方が「料金が高いから」と回答。

料金の高さを理由に利用を控えている状況が見受けられる。

■ 普段利用しないまたは片道利用の理由：道路利用者（有効回答数 27）  
沿線住民北（有効回答数 342）  
沿線住民南（有効回答数 33）

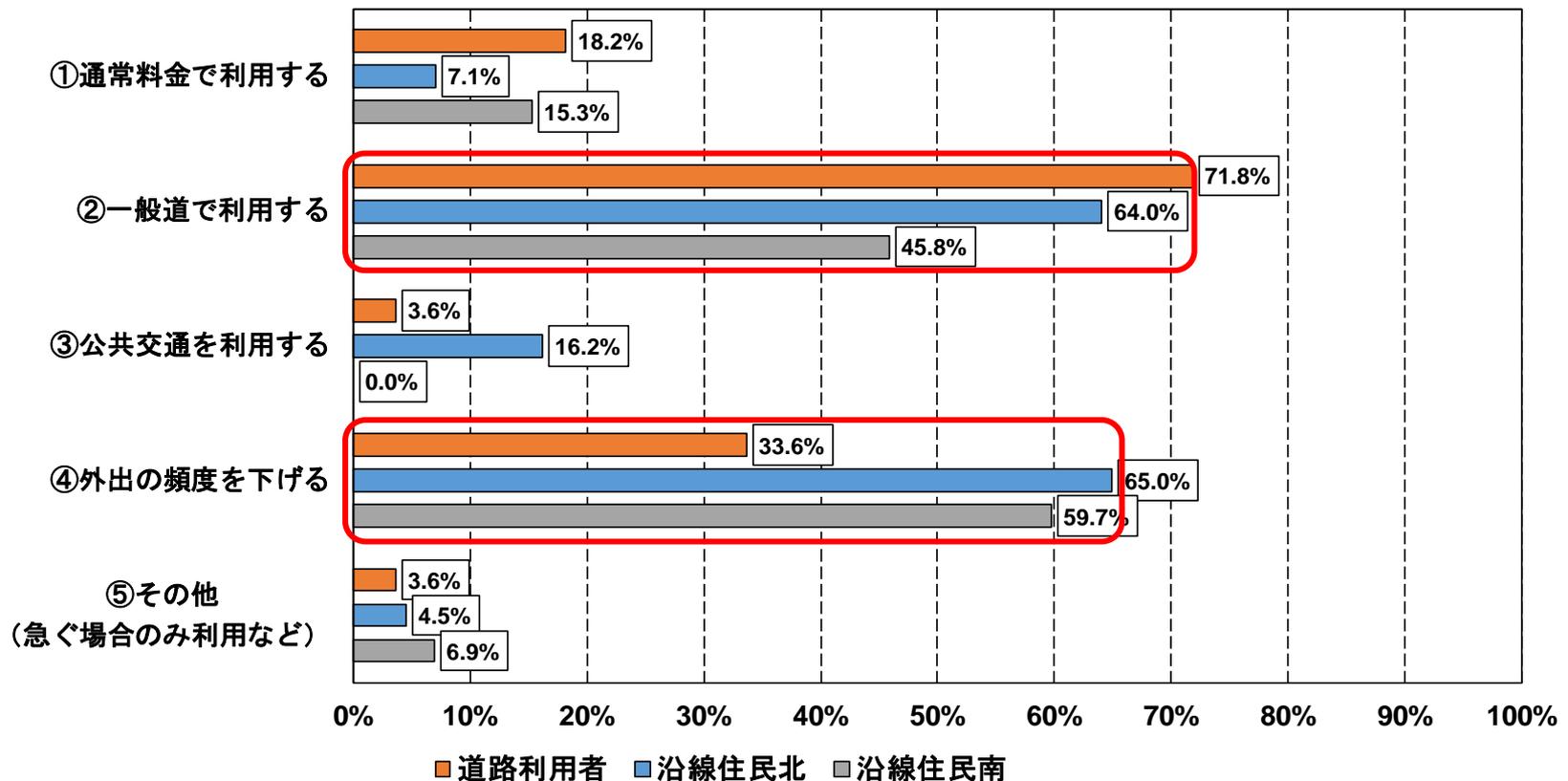


# 4. アンケート調査結果

## (8) 料金割引社会実験について

社会実験を終了し、通常料金となった場合において、約半数を超える方が「一般道を利用」、「外出の頻度を下げる」といった、箕面グリーンロードの利用頻度を下げるような回答をしており、料金割引の効果は大きいと思われる。

■料金割引社会実験が終了した場合：道路利用者（有効回答数 110）  
沿線住民北（有効回答数 976）  
沿線住民南（有効回答数 72）



- 北側の沿線住民は、利用頻度が比較的高く、約7割の方が、週に1回以上利用しており、主に通勤や買い物といった生活道路として利用されている。
- 南側の沿線住民は、約半数の方が、月に1、2回以上利用しており、主に観光・レジャー目的で利用されている。
- 普段から利用しない、片道利用の主な理由として約8割の方が「料金が高い」と回答
- 利用者の75%以上が、「往復」で利用しており、普段から利用する理由として9割以上の方が「移動が早い」と回答
- また、社会実験を終了した場合、約6割の方が「一般道を利用」または「外出頻度を下げる」といった、箕面グリーンロード利用頻度を下げるような回答をしており、料金割引の効果は大きいと思われる。

# 5. 箕面グリーンロードの利用促進

利便性のPRや利用促進の取り組みとして、各サービスエリアや市役所等にPRチラシの配架や、SNSで観光需要の喚起やイベントを実施した。

## ○チラシの配布 (R5. 6. 28~30)

箕面有料道路利用促進チラシ 133, 200部配布  
(配架箇所：豊中市、箕面市、吹田市、茨木市)

## ○スタンプラリー (R5. 10. 1~R6. 2. 29)

近畿圏5道路公社合同企画 (走って! 遊んで! 5GoプランカードラリーX)

## ○抽選プレゼント (R5. 10. 1~R6. 9. 30)

道路公社設立40周年記念 対象箇所を通行し応募すると抽選でミニカーをプレゼント

## ○イベント (R5. 6. 11~R6. 3. 24)

(淀川わいわいガヤガヤ祭、中央卸売市場、箕面まつり、阪急交通社ツアー、北急延伸みのお新駅開業の祭典)

## ○SNS等

- ・ Instagram グルメ投稿
- ・ 箕面有料道路 紹介YouTube
- ・ J;comテレビ出演 (R5. 6. 19)



Instagram 広報



PRチラシ



抽選プレゼント

## 6. 令和5年度社会実験の総括

### (1) 交通量の増加

- 普通車、軽自動車等の交通量は社会実験開始以降、継続的に増加している。

### (2) 周辺道路からの交通転換

- 令和5年度では中国自動車道リニューアル工事の終日通行止めを終了したことを考慮し、令和3年度以前と比較すると箕面グリーンロードの交通量の割合が増加傾向にある。よって周辺道路から箕面グリーンロードへの交通転換が促進されていると考えられる。

アンケート調査結果では、料金割引終了に対して約6割が「一般道を利用する」と回答しており、割引による利用効果は大きい。



以上の結果より、料金割引社会実験は、利用促進に寄与している。  
引き続き、料金割引社会実験を実施し、交通量や利用者の意見、影響などを把握し、その効果を検証するとともに、観光情報発信、利便性PRなどの利用促進に取り組む。